PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 11039110 A

(43) Date of publication of application: 12.02.99

(51) Int. CI

G06F 3/12 B41J 29/38

(21) Application number: 09192565

(22) Date of filing: 17.07.97

(71) Applicant:

NIIGATA NIPPON DENKI

SOFTWARE KK

(72) Inventor:

ABE SEIICHI

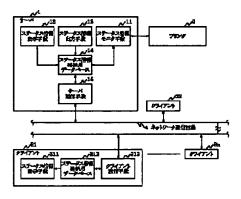
(54) PRINTER STATUS INFORMATION NOTIFICATION SYSTEM

COPYRIGHT: (C)1999,JPO

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To inform an operator, a maintenance person and a user of the status information of a printer fault by utilizing means originally provided in a network communication environment without adding resources to a printer.

SOLUTION: Data bases 14 and 312 for storing status information are provided with means for notifying the changes in the status information of the printer 2 through an API, while a status information monitoring means 11 stores the status information in the data bases 14 and 312 for storing the status information by itself or through communication means 15 and 313. Status information output means 12 and 311 set a client for the operator and the client for the maintenance person in the data bases 14 and 312 for storing the status information, thus status information display means 13 and 311 inform the client for the operator, the client for the maintenance person and the client for a printer user of the fault.



(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-39110

(43)公開日 平成11年(1999)2月12日

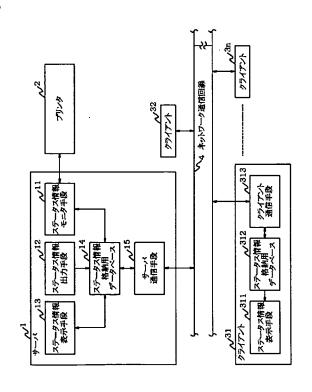
(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	F I		
G06F 3/12		G06F 3/12	Α	
			D	
B41J 29/38		B 4 1 J 29/38	Z	
		審査請求 有 請	求項の数2 OL (全 7 頁)	
(21)出願番号	特顧平9-192565	(71)出願人 390003045 新爆日本電気ソフトウェア株式会社		
(22) 出窗日	亚成 9 年 (1997) 7 月 17 日	1		
(DD) MARCH	1 22 0 1 (2001) 1 7321 11			
		(- / Z = / C / C / C		
		***************************************	本電気ソフトウェア株式会社内	
(21)出願番号(22)出顧日	特顧平9-192565 平成9年(1997)7月17日	(71)出顧人 390003045 新潟日本電 新潟県新潟 (72)発明者 阿部 誠一 新潟県新潟	気ソフトウェア株式会社 市明石1丁目2番26号 市万代4丁目4番27号 新潟日 トウェア株式会社内	

(54) 【発明の名称】 プリンタステータス情報通知システム

(57)【要約】

【課題】プリンタに資源を追加せずに、ネットワーク通信環境でもともと備えている機構を利用して、運用者ならびに保守者および利用者にプリンタ障害のステータス情報を通知する。

【解決手段】ステータス情報格納用データベース14および312は、プリンタ2のステータス情報の変更をAPIを通じて通知する機構を持ち、ステータス情報モニタ手段11は、自身あるいは通信手段15,313を通じて、ステータス情報をステータス情報格納用データベース14,312に格納する。ステータス情報出力手段12,311は、運用者用クライアント、保守者用クライアントをステータス情報格納用データベース14,312に設定し、ステータス情報表示手段13,311は、運用者用クライアント、保守者用クライアント、プリンタ利用者クライアントに、障害を通知する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 プリントサーバおよびクライアントがネットワーク通信回線に接続されて、前記クライアントそれぞれからリモートに前記プリントサーバを利用するシステムにおいて、

前記プリントサーバは、

プリンタの構成および稼働状態を監視し、前記プリント の前記構成および稼働状態を示すステータス情報を入手 するステータス情報モニタ手段と、

前記ステータス情報ならびに前記情報の通知先情報を格 納するステータス情報格納用データベースと、

前記ステータス情報格納用データベースを参照して、前 記ステータス情報の通知先を選択し、前記情報を出力す るステータス情報出力手段と、

前記ステータス情報格納用データベースから前記ステータス情報を取得して表示するステータス情報表示手段と、

前記クライアントに対して、ネットワーク通信回線を通 して、前記ステータス情報を送付するサーバ通信手段 と、

を具備し、

前記クライアントは、

前記プリントサーバから、ネットワーク通信回線を通じ て前記ステータス情報を受理するクライアント通信手段 と、

前記クライアント通信手段を通じて入手するステータス 情報を格納するステータス情報格納用データベースと、 前記ステータス情報格納用データベースから前記ステー タス情報を取得して表示するステータス情報表示手段 と、

を具備し、

てなることを特徴とするプリンタステータス情報通知システム。

【請求項2】 前記通知先情報は、

前記プリンタを利用中のクライアントと、

前記ステータス情報に基づいて、障害状況を解除する一 次通知先である運用者用クライアントと、

前記一次通知先への通知後、一定時間の間の障害状況が解消されないとき、

前記ステータス情報を再通知する二次通知先の保守者用クライアントと、

を登録していることを特徴とする請求項1記載のステータス情報通知システム。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】この発明は、プリントサーバ に関し、特にプリンタの稼働状況や障害状況を含むステータス情報を利用者だけでなく、運用者や保守者のクライアントに通知するプリンタステータス情報通知システムに関する。

[0002]

【従来の技術】従来のバスに接続される共有のプリンタ 装置では、プリンタのステータス情報をユーザに送付す るには、プリンタ装置自体に記憶装置などの追加資源を 必要とするとともに、該情報をネットワーク上の上位装 置にも通知するには、別の通知手段を設ける必要があっ た。また、遠隔地からネットワーク通信回線を通じて共 有されるプリンタ装置へのプリント時に障害が発生した 場合、プリントを行う上位装置にのみ障害を通知してい たため、適切な部署への通報に時間がかかり、障害を解 除することに、手間どることがあった。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】第1の問題点は、従来の技術において、遠隔地のネットワーク上に共有されたプリンタ装置へのプリント時、障害が生じると、それを解除するためにプリンタ装置の管理者等に利用者が連絡を取るなどの手間が必要であり、そのための時間とコストが増加するという点である。その理由は、プリンタ装置の障害を運用者や保守者に通知する手段が無かったためである。

【0004】第2の問題点は、プリンタ装置にこのような手段を付加することが困難であった。その理由は、印刷装置に付加するには記憶装置などの増設コストがかかるためである。

【0005】この発明の目的は、ネットワーク通信回線で共有されたプリンタ装置の障害を利用者のみでなく、プリンタ装置の運用者や保守者に通知することで障害解除を迅速かつ効率的に行うことができ、利用率の向上に寄与することにある。

[0006]

【課題を解決するための手段】この発明におけるプリン タ2をモニタするステータス情報モニタ手段11は、ス テータス情報を格納するステータス情報格納用データベ ースプログラム14を介して、ステータス情報表示手段 13と、サーバ通信手段15ならびにクライアント31 乃至クライアント3nのクライアント通信手段313 と、統一されたアプリケーションインターフェース(以 降、APIと略記)を経由して、情報伝達を行ってい る。前記システムにステータス情報出力手段12を設け て、プリンタ2の運用者や保守者のクライアントをステ ータス情報の通知先として新たにステータス格納用デー タベース14に付加する。また付加された通知先の運用 者や保守者のクライアント名は、全てのクライアント3 1乃至3 nのステータス情報格納用データベース312 乃至3n2にもステータス情報の送付によって設定され る。さらにプリンタ2の障害発生時にステータス情報格 納用データベース14に付加された通知先の運用者や保 守者のクライアントの設定により、プリンタの利用者と 共に運用者や保守者用のクライアントに該障害を通知す る。ステータス情報格納用データベース14および31

2に用意されるステータス情報の格納域が、必要に応じて変更が加えられた場合、APIを通じて、ステータス情報表示手段に該変更を通知し、該情報がウィンドウに表示される。

【0007】ネットワーク通信回線4を通じて、共有さ れるプリンタ2のサーバ1のステータス情報モニタ手段 11は、プリンタ2のステータス情報をすべてステータ ス情報格納用データベース14へ設定し、さらにクライ アント31乃至3nのクライアント通信手段313乃至 3n3は、サーバ通信手段15を介してサーバ1のステ ータス情報格納用データベース14の情報をクライアン ト31乃至3 nのステータス情報格納用データベース3 12乃至3にそれぞれ設定する。またステータス情報出 カ手段12は、共有されたプリンタ2の障害発生時の通 知先クライアントを列挙してステータス情報格納用デー タベース312へ設定する。また存在すれば運用者用ク ライアントも設定する。サーバ通信手段15は、クライ アント通信手段313と接続を行った際、ステータス格 納用データベース14に、接続されたプリンタ2の利用 者クライアントを設定する。

【0008】クライアント31がネットワーク通信回線 4を通じてプリンタ2を使用中に、プリンタ2に何らか の障害が発生した場合、サーバ1のステータス情報モニ タ手段11が、該障害を含むステータス情報を入手し、 ステータス情報格納用データベース14ヘプリンタ2の ステータス情報を設定する。またステータス情報格納用 データベース14は、サーバ通信手段15,クライアン ト通信手段313を介してクライアント31のステータ ス情報格納用データベース312へ障害情報を含むステ ータス情報を設定する。ステータス情報表示手段31 1,13は、それぞれステータス格納用データベース3 12,14により、プリンタ2のステータス情報変更を APIを通じて通知され、該情報を取得する。障害を解 除する運用者用クライアントおよびプリント出力中のク ライアントに該情報が通知される。さらに運用者用クラ イアントに通知した場合で、かつ一定の時間以内にプリ ンタの障害が解除されない場合、二次通知先に登録され ている保守者クライアントをステータス格納用データベ ース14から取得し、保守者用クライアントに該情報を 通知する。

[0009]

【発明の実施の形態】次に、この発明の一実施例の構成について、図1を参照して説明する。サーバ1のステータス情報モニタ手段11は、基本プログラム起動時にプリンタ2の構成情報とステータス情報を取得し、ステータス情報格納用データベース14に登録する。またステータス情報出力手段12は、運用者用クライアントおよび保守者用クライアントのクライアント名をステータス情報格納用データベースに格納する。クライアント31はユーザログインと共に起動するクライアント通信手段

313でサーバ1のサーバ通信手段15と遠隔手続き呼 び出し(以下RPC:RemoteProcedure Call) により接続 し、サーバ1のステータス格納用データベース15より 必要なステータス情報を取得し、ステータス情報格納用 データベース312に格納する。クライアント31のア プリケーションプログラムでプリント出力が開始され、 プリンタ2で障害が発生したとき、ステータス情報モニ タ手段11は、該障害をステータス格納用データベース 14に通知し、サーバ通信手段15およびクライアント 通信手段313を介して各ステータス情報格納用データ ベース312に該情報を複写する。クライアント31の ステータス情報表示手段311は、障害発生を表示す る。またクライアント32が、運用者用クライアントに 割り当てられている場合、サーバ1は、クライアント3 2にもステータス情報を通知する。 さらにクライアント 32は、一定時間障害が運用者によって解除されない場 合、クライアント32自身のステータス情報表示手段3 21はステータス情報格納用データベース322より保 守者用クライアント名を取得し、該クライアントにステ ータス情報を通知する。

【0010】次に、この実施例の動作について、図1を 援用し、図2ならびに図3および図4を参照して説明す る。図1のサーバ1の起動時にステータス情報出力手段 12は、ステータス情報格納用データベース14へ一次 通知先の運用者用クライアント名、二次通知先の保守者 用クライアント名を登録する(ステップ101)。サー バ1は、クライアント31乃至クライアント3nからの 接続を待つ待機ループに入る(ステップ102,ステッ プ103のNo)。クライアント31乃至クライアント 3nから接続があると(ステップ103のYes)、接 続したクライアント31をステータス情報格納用データ ベース14に登録し(ステップ104)、さらに待機を 続ける(ステップ102, 103のNo)。サーバ1に 接続されているプリンタ2を利用するクライアント31 のクライアント通信手段313は、各起動時にサーバ1 のサーバ通信手段15を通じてステータス情報格納用デ ータベース14にクライアント31を登録させる(ステ ップ104)。クライアント通信手段313は、プリン タ2のステータス情報を、サーバ通信手段15を通じて ステータス情報格納用データベース14からクライアン ト31のステータス情報格納用データベース312へ複 写し (ステップ202およびステップ302)、サーバ 1からの通知を待機する状態に入る(ステップ203お よびステップ204のNo, ステップ303およびステ ップ304のNo)。このループは、システム終了まで 繰り返される。

【0011】次に、プリント出力時にプリンタ2に障害が発生した場合、サーバ1のステータス情報モニタ手段11が障害発生を検出し(ステップ204のYes)、障害をステータス情報格納用データベース14に設定す

る (ステップ205)。ステータス情報格納用データベ ース14は、サーバ通信手段15へAPIを通じて通知 し、サーバ通信手段15は、他のクライアント31乃至 クライアント3nのクライアント通信手段313乃至3 n3へRPCにて通知する。クライアント通信手段31 3は、サーバ通信手段15を通じてステータス情報格納 用データベース14より障害情報を取得し、ステータス 情報格納用データベース312へ設定する。クライアン ト31のステータス情報表示手段311は、プリンタ2 の障害の検出し(ステップ304のYes)、クライア ント31が自身で、プリント出力中であるか否かをチェ ックし、自身がプリント出力中である場合(ステップ2 06のYes, ステップ305のYes)、障害発生を 運用者用クライアントに通知する(ステップ207,ス テップ308)。さらにクライアント31は障害が解除 されたか否かを検出し、障害が解除された場合(ステッ プ209のYes)、待機状態に戻る(ステップ203 およびステップ303)。障害が解除されない場合(ス テップ209のNo)、一定時間経過したかをチェック し、一定時間経過していた場合(ステップ210のYe s)、障害が解除されないことを保守者用クライアント に通知し(ステップ211)、待機状態に戻る(ステッ プ203)。一定時間経過していない場合(ステップ2 10のNo)、障害解除検出待ちのループに戻る(ステ ップ208)。このループは障害が解除されるまで繰り 返される。クライアント31からのプリント出力中でな い場合、ステータス情報格納用データベース14ならび に312から運用者用クライアントを取得し、一次通知 先のクライアントがどうかチェックする(ステップ30 6)。一次通知先のクライアントの場合(ステップ30 6のYes)、該障害を通知する(ステップ308)。 さらに一次通知先でない場合(ステップ306のN o)、障害解除依頼する二次通知先であるか否かをチェ ックし、二次通知先の保守者用クライアントであるとき (ステップ307のYes)、該障害を表示する(ステ ップ308)。検出しない場合は(ステップ307のN o)、通常状態に戻る(ステップ303)。このループ はシステム終了まで続ける。

【0012】更に、この実施の形態について、プリンタ 2の障害を印刷中にかかわらず運用者用クライアントに 通知し、障害解除を迅速に行えるようにする。まず、印 刷終了直後の用紙なし等の印刷中に発生した障害がプリ ンタ2に発生すると、ステータス情報モニタ手段11が ステータス情報格納用データベース14に障害のステー タス情報を設定する。ステータス情報表示手段311 は、運用者用クライアントに設定されているかを否か検 出し、自身が運用者クライアントに設定されていると、 プリント出力中にかかわらず障害を自身のウインドウに 表示することができることは明らかである。

[0013]

【発明の効果】第1の効果は、プリンタ側を変更することなしに、ネットワーク通信回線で共有されたプリンタの障害を印刷中のクライアントまたは指定のクライアントに通知することができる。その理由は、プリンタおよびサーバに、もともと備わっているステータス情報をクライアントに送付する機能を利用して、ステータス情報格納用データベース、サーバ通信手段、クライアント通信手段およびステータス情報表示手段に、ステータス情報出力手段を付加することによりサーバよりプリンタのステータス情報を利用者だけでなく、運用者あるいは保守者のクライアントに送付することができるからである。

【0014】第2の効果はプリンタで、特別な外部記憶などの追加資源を必要としない点である。その理由はサーバ自体で必要な情報を保持する機構をもともと備え、その機構を利用できるからである。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施の形態を示す構成図である。 【図2】図1のサーバの動作を示すフローチャートである。

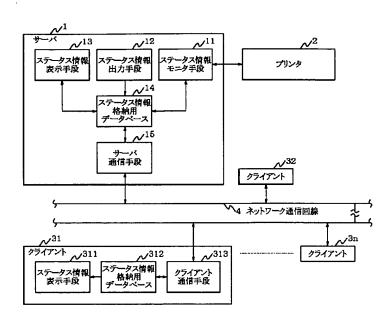
【図3】図1のクライアントが印刷中に障害のステータス情報を受けて、一次通知先の運用者クライアント、二次通知先の保守要員クライアントに障害を通知する動作を示すフローチャートである。

【図4】図1のクライアントが印刷中に障害のステータス情報を受けたとき、クライアント自体が運用者クライアントである場合の動作を示すフローチャートである。

【符号の説明】

- 1 サーバ
- 2 プリンタ4 ネットワーク通信回線
- 11 ステータス情報モニタ手段
- 12 ステータス情報出力手段
- 13 ステータス情報表示手段
- 14 ステータス情報格納用データベース
- 15 サーバ通信手段
- 31乃至3n クライアント
- 311 ステータス情報表示手段
- 312 ステータス情報格納用データベース
- 313 クライアント通信手段

【図1】



【図2】

